

個人質問通告書

令和8年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
4	千葉 誠 (60分) 【一問一答】	1 市の財政状況と今後の財政見通しについて (1) 市が公表している財政見通し及び令和13年度以降を含めた今後の財政状況に対する認識について伺う (2) 財政見通しを踏まえ、一関市行政改革大綱・集中改革プラン、一関市公共施設等総合管理計画等の取組を前倒し、強化または見直す考えについて伺う	市長
		2 ふるさと納税による財源確保と地域産業振興について (1) 本市のふるさと納税の実績について、実質的な財源効果及び地域経済への波及効果をどのように評価しているのか伺う (2) 本市において寄附件数が減少している要因及び、花巻市、宮古市、宮城県気仙沼市など、本市を上回る実績を上げている近隣自治体との差について、市としてどのように分析しているのか あわせて、今後さらに寄附額及び寄附件数を伸ばしていく上で、どのような課題認識を持っているのか伺う (3) 寄附額及び寄附件数を伸ばすための返礼品強化、事業者支援、情報発信並びに専門部署または専任チームの設置を含む庁内推進体制の強化について伺う	市長
		3 JR一ノ関駅東口工場跡地の今後の利活用について (1) 土地開発事業者の公募中止について、市としてどのような検証を行ったのか伺う (2) 防災大学校及び国際リニアコライダー関連施設の位置づけと、駅前一等地に求める「賑わい創出機能」との整合性について伺う (3) 国等の判断を待つことなく、公共空間と民間活用を組み合わせた段階的な跡地活用を進める考えはないか伺う (4) 議会への事前説明の在り方及び公募中止後の新たな工程表について伺う	市長

個人質問通告書

令和8年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
5	千葉 ちあき (60分) 【一問一答】	1 「子ども・子育て支援金」による住民負担増の問題と当市の「こども計画」事業について (1) 「子ども・子育て支援金制度」について伺う 「子ども・子育て支援金制度」の概要について伺う - 市民に対しての周知方法について伺う - 本制度について住民の負担感をどのように認識し、理解を得ていくのか伺う - 受益と負担の関係に不公平感を抱く市民の声があるが、こうした声を踏まえ、国に対して制度の見直しや再考を求める考えはあるか伺う (2) 本市こども計画に掲載されている子ども・子育て関連事業の事業総数及び総事業費を伺う (3) 子ども・子育て支援金の充当事業「こども誰でも通園制度」について本市の実施状況を伺う (4) こども計画で実施する事業のうち、住民負担軽減のため市単独事業等の見直しを行う考えはあるか伺う	市長
		2 厳美溪 100 周年に向けた取組と観光振興について (1) 2027 年に迎える厳美溪の国の名勝・天然記念物指定 100 周年を、市としてどのような節目と捉えているのか市長の所見を伺う (2) 記念行事に対して発起人会の人たちを含めて、実行委員の方々から出された意見や提案について伺う (3) 100 周年を契機として河川管理者や地域の方々と協議・連携しながら、河川敷の樹木、貞山桜の保全・整備、老朽化した案内看板など厳美溪全体の景観・環境整備を進めていく考えはないか伺う (4) 観光客の滞在・消費につなげる受入れ環境の充実を促す取組について伺う (5) インバウンド観光客への対応について伺う (6) 先に迎えた狛鼻溪名勝指定 100 周年の記念行事の成果や課題を踏まえ、厳美溪を守り支えて来られた方々の 100 周年記念事業への参画について市の見解を伺う	市長
6	森 英 隆 (50分) 【一問一答】	1 JR一ノ関駅東口の土地利用について (1) 防災大学校の誘致について伺う - 誘致場所としての一関市の強み、併せて浸水想定エリアに誘致することをどう捉えているか (2) 防災大学校の誘致による地元への波及効果について伺う - 防災大学校の立地効果を地元に着定させるための取組まで視野にいられているのか、具体的な考えはあるのか (3) 市民との連携・醸成のための取組について伺う - 防災大学校の誘致を含めた今後の駅東口開発の市民説明の考えはあるか	市長
		2 市内道路のトンネル照明の整備について (1) 市内道路のトンネル照明の整備について伺う 市内道路のトンネルのLED化の状況は (2) 主要地方道一関大東線、新狭山トンネル照明のLED化の促進について伺う	市長

個人質問通告書

令和8年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
7	齋藤 禎 弘 (40分) 【一問一答】	1 農業者支援について 農林水産省が5年に一度発表している農林業全数調査（農林業センサス）の2025年版によれば、仕事として主に自営農業に従事する基幹的農業従事者の数が、5年前と比較し年齢構成の全階層で減少し、全国で25.1%に当たる34万2,000人が減少し、102万1,000人となることが分かり、2000年の240万人と比較し、6割近く減少したことが明らかになった また、2026年産米の概算金においては、既に公表されているものは、その多くは前年産のおよそ4割前後下落した金額となっており、離農にさらに拍車がかかることが危惧される このまま減少が続けば農村が崩壊し、食料の生産基盤が失われる可能性がある (1) 農業者支援について、市長の考えを伺う (2) スマート農業機械導入支援事業費補助金と農業用草刈機導入補助金の申請状況と市長の評価について伺う (3) 2026年産米が2025年産米と比較し大幅な下落が見込まれる中、市としても支援策が必要と考えるが、市長の認識を伺う	市長
		2 JR一ノ関駅周辺整備について 一関市は具体的な活用策がないまま、NECプラットフォームズ株式会社一関事業所跡地（以下、工場跡地という）を取得することとしたが、この間、多額の予算を費やし、工場跡地の利活用に向け検討を進めてきた 今年の5月には、土地開発のパートナーとして土地開発事業者の公募を進めてきたものを、事業者側の提案内容が市の公募要件に合致しないなどの理由で公募を中止した その後、防災大学校の誘致を行っているが、その実現については不透明である 取得を決定してから4年近く経過しようとしているが、何ら、具体的な利活用策は決定していない また、JR一ノ関駅の東西自由通路についても検討を進めているが、その需要そのものについては明らかにされていない (1) 当初の工場跡地の取得理由とした利活用構想には、イノベーション創出機能、にぎわい創出機能、公共機能の3つの機能のイメージがあったが、今後の検討方針に変更があるのか伺う (2) 取得理由の一つのイノベーション創出機能と防災大学校の誘致について、その整合性について市長の認識を伺う (3) 駅東工場跡地開発について、跡地取得の是非を含め、広く市民の声を聞くべきと考えるが、市長の考えを伺う (4) JR一ノ関駅の東西自由通路について、その利用見込みについて伺う	市長

個人質問通告書

令和8年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
8	岩 渕 優 (4 0 分) 【一問一答】	1 空き家について (1) 2040年頃の空き家数の推計値について伺う (2) 2025年度時点で一関市が把握した、市内の空き家件数4,235戸の所有者の居住地等の内訳について伺う (3) 一関市空家等対策計画の第4章にある空家等の活用の促進に関して、「活用可能な空家等の情報を収集、整理し、利活用のマッチングが促進されるよう、情報の共有化を進めます。」とあるが、現在の進捗状況について伺う (4) 空き家の利活用等に関して、民間事業者との連携について伺う	市長
		2 5歳児健康診査について (1) 2026年度の対象人数について伺う (2) 診査基準について伺う (3) 健康診査実施済みの人数とその結果について伺う (4) 発達特性が見つかった場合の専門医や療育支援などのフォローアップ体制について伺う	市長
		3 移住者の新規就農支援について (1) 移住者の新規就農の現状について伺う (2) 農地や住居の確保、初期投資の軽減、収入の安定化、収益性の確保、指導体制の取組内容について伺う (3) 今後の取組課題と解決策等について伺う	市長

個人質問通告書

令和8年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
9	沼倉憲二 (40分) 【一問一答】	1 県政と一関市について (1) 市長は、岩手県政の中で、一関市はどのような位置づけとなっていると捉えているかを伺う (2) 一関市は、県庁から見て南端にあるが県南振興の面で産業や学校、医療などの拠点となっているのか、具体を伺う (3) 県政上の拠点性が弱いのであれば、沿岸部や宮城県北と一緒に「満月型」の市政推進により岩手県の玄関口、中東北の拠点都市としての市政推進を具体的に取る組み考えはないか伺う	市長
		2 JR一ノ関駅東口の整備について (1) 4年以上かけてコンサルや専門家によるイノベーション構想検討委員会や一ノ関駅東口まちづくり株式会社を設置し市民説明会により市民の意向の反映など様々な経過を経て取り組んできた計画について、開発事業者の提案が公募要件に合致しなかったから公募を中止し再検討の期間を確保することとしたとの説明があったが、公募への参加者が1者であったと想定されますが、民間活力による開発を基本とした公募要件等の設定に問題がなかったのか伺う (2) 7月の特別委員会で説明があった東口土地活用事業では、防災大学校やILC関連施設を誘致したいとの内容であるが、いずれも見通しが不明で、市が決定できる事業ではない、また、8月の委員会では道路等の基本的なインフラに加え、市が先行して整備する公園・広場などが示されたが、一方では防災大学校の誘致にも取り組むとなっており、整合性が取れないのではと考える したがって、市が主体的に民間活力も取り込んだ計画を明確にしてスピード感を持って取り組む必要があると考えるが市長の考えを伺う (3) JR東日本から東西自由通路の整備の確度が高まっているという報告を受けて基本調査が始まっているが、現時点で8年程度の工期と70億円ほどの事業費が予想され、さらに昨今の情勢により増額が見込まれる中で、整備ありきではなく、今後の利用者動向の分析や利用者への費用の支援など次善の策の検討により事業の可否を判断する必要があるのではないかと考えるが市の考えを伺う	市長
		3 厳美溪整備など観光振興について (1) 観光振興に対する市の基本的な考えと役割や具体的な取組を伺う (2) 市を代表する観光地であり、国の名勝指定100周年を迎える厳美溪の現状をどのように据え、また、観光ゾーンとしての整備に取り組む考えはないか伺う ・ レストハウスや駐車場の休止 ・ 一関温泉郷の現状 (3) 4月から商工観光部と名称変更となったが、機構変更の背景と機能強化の具体について伺う	市長

個人質問通告書

令和8年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
10	岩 渕 典 仁 (5 0 分) 【一問一答】	1 地域未来戦略に対する一関市の対応について (1) 地域未来戦略に対する市の認識について伺う (2) 地場産業成長プランについて伺う (3) 地域未来戦略の推進体制について伺う	市 長
		2 一ノ関駅東口工場跡地の利活用について (1) 一ノ関駅東口土地利活用コンセプトについて伺う (2) 子育て・教育・人材育成の拠点について伺う (3) 一ノ関駅東口まちづくり株式会社に期待する役割について伺う	市 長
11	門 馬 功 (6 0 分) 【一問一答】	1 外国人に選ばれるまちづくりについて (1) 外国人市民を地域の担い手として位置づけることについて伺う (2) 相談・情報提供・日本語学習の充実について伺う (3) 働きやすさと暮らしやすさを一体で支えることについて伺う (4) 子育て、教育、防災・医療への対応について伺う (5) 外国人市民の声を生かす推進体制について伺う	市 長 教 育 長
12	猪 股 晃 (6 0 分) 【一問一答】	1 2025年農林業センサスから見る一関市の農業について (1) センサスの数値から見る当市の現状について伺う (2) 現状から、当市の農業をどう分析しているのか伺う (3) 現在行っている施策とその成果について伺う (4) 今後の施策の方向性について伺う	市 長
		2 集落支援員の活動について (1) 集落支援員の配置状況と地域における具体的な活動を伺う (2) 集落支援員の身分や待遇がどのようになっているか伺う (3) 集落支援員の資質向上のための対応について伺う (4) 地域協働体職員と集落支援員の関係性を伺う (5) 今後の集落支援員の活動充実を図るための対応を伺う (6) 今後の地域づくりの方向性を伺う	市 長

個人質問通告書

令和8年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
13	千葉栄生 (40分) 【一問一答】	1 生活保護制度の現状と最高裁判決を踏まえた追加給付について (1) 本市の生活保護の現状について伺う - 生活保護世帯数、被保護人員と保護率の推移と高齢者世帯、障がい者世帯、ひとり親世帯、その他世帯など、世帯類別の現状と特徴をどのように把握しているか - 物価高勝が続く中、生活保護世帯の生活実態や暮らしへの影響をどのように把握しているか - 生活保護を必要としている市民が、ためらうことなく相談と申請につながるための相談体制をどのように整備しているか (2) 最高裁判決を踏まえた保護費の追加給付の対象者を取りこぼさないための支援について伺う - 追加給付に関する相談窓口を分かりやすく周知をする考えはあるか - 自ら情報を得たり、手続を行うことが困難な方への支援をどのように行うのか	市長
		2 ごみ減量化のさらなる推進について (1) これまでのごみ減量化施策の検証について伺う - 一般廃棄物減量基本計画に掲げる、1人1日当たりの排出量とリサイクル率の目標にする現在の達成状況をどのように評価しているか - これまで実施してきた生ごみ減量、資源物回収、食品ロス削減、集団資源回収の施策について、どの程度の減量と資源化があったと認識しているか (2) ごみ減量化と市民負担について伺う - ごみ処理に要する経費について、減量化によってどの程度の経費削減が可能なのか、市民に分かりやすく示す考えはないか - ごみの減量や資源化に取り組む市民や自治会等に対する支援を拡充する考えはないか	市長
14	佐藤進治 (40分) 【一問一答】	1 災害時の対応について 東日本大震災を経験した一関市、その経験は一関地域防災計画に反映されておりますが、7月末に熊本地震が発生し、8月2日の北上川上流の大雨で一関遊水地小堤を越え遊水地内に水が流れ込んだ あらためて市の災害対応について伺う (1) 指定避難所、地域避難所の耐震性について伺う (2) 避難所において停電、断水など発生した場合のバックアップ体制を伺う (3) エアコン・段ボールベッド・パーティション等、避難所の設備、災害用品について伺う (4) 福祉避難所の開設のタイミングについて伺う (5) 災害関連死を防ぐ対策について伺う (6) 東日本大震災などの災害体験をいかに継承するか伺う	市長
		2 日常生活用具給付事業について（障がい者福祉） 第7期障がい福祉計画の中に、障がい者等の自立支援として日常生活用具給付事業がある (1) その種目は6つあるが、それぞれの代表的な支援内容について伺う (2) それぞれの計画件数は、身体障害者手帳を持っている方などを想定した計画か伺う	市長

個人質問通告書

令和8年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
15	石黒一広 (50分) 【一問一答】	1 地域を知り、未来を考える教育について (1) 一関市の現状や課題、地域の魅力や可能性について、小学校高学年から中学生が学び、自ら考える機会がどのように設けられているか伺う (2) 学校での学びを家庭での対話につなげ、親子で地域の未来について考える機会があるか伺う (3) 小中学生が地域社会や企業と直接関わり、地域を知る機会があるか伺う 2 市民参加を踏まえた市政運営について (1) 市民から寄せられた意見や提案を、市政運営や政策形成にどのように反映しているのか伺う (2) 二元代表制の下、市長と議会がそれぞれ市民の負託を受けた立場として役割を果たし、市民の声をよりよい市政につなげていくことが重要であると考えますが、市の重要な政策を進めるに当たり、議会への情報提供や説明をどのように行い、また、議会から出された意見や提言を市政運営にどのように生かしていく考えなのか伺う	市長 教育長
16	菅原行奈 (60分) 【一問一答】	1 新たな総合計画の実効性の確保について 令和8年度から、将来像を「ひとりひとりが輝く 挑戦しつづけるまち いちのせき」と掲げ、3期目の「一関市総合計画（2026～2035年度）」がスタートしている その中で、市は、「人口減少への対処」を最大・最優先課題と位置づけているが、この総合計画を実際に10年間でどう実現していくのか (1) 市長の新総合計画にかける決意を伺う 「ひとりひとりが輝く」「挑戦しつづける」とは (2) 計画の策定に当たり、様々な方法で市民の意見を聴取しているが、それら意見がどのように計画に反映されたかを伺う (3) 総合計画では、多数の評価指標が示されているが、どのように目標値を設定したのか伺う (4) 総合計画では、重点プロジェクトとして掲げている、次の4項目 - 若者・女性・外国人が輝けるまちづくり - ILCの実現を見据えたまちづくり - 駅東口工場跡地の利活用などによる持続可能なまちづくり - DX推進による快適で持続可能なまちづくり について、実際の予算、人員、事業の優先順位がどうなっているのかを伺う (5) 掲げている施策が、予算編成や実施計画にどのように反映されるのか、市民参加による進行管理について伺う 2 高齢者の買い物難と公共交通について 市街地、旧町村部を問わず、歩いて行ける範囲内のスーパーや商店が減少し、高齢者の「買い物難民化」が深刻である (1) 本市における高齢者の「買い物弱者」の現状はどうなっているのか伺う (2) 公共交通（民間路線バス・市営バス・デマンド型乗合タクシー）の現状はどうなっているのか伺う (3) 移動販売、移動支援の取組などは把握しているのか伺う (4) 「地域公共交通」の再編について、新たな取組の検討はないか伺う (5) 現在「点」の民間の取組を「面」の取組にするため、財政支援と移動支援の仕組みづくりを行う考えはないか	市長

個人質問通告書

令和8年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
17	岡田もとみ (40分) 【一問一答】	1 難聴高齢者の補聴器購入費補助について 加齢性難聴による高齢者の社会参加の推進に当たっては、補聴器の利用促進は重要な課題である 市町村独自の補聴器の購入費助成は、3年間で4.5倍の550自治体に広がっているとのこと 厚生労働省は、自治体の介護予防事業に充てられる「介護保険保険者努力支援交付金」の目的に、2025年度から新たに難聴高齢者の早期発見・早期介入等の取組を追加した この交付金を活用して、高齢者の補聴器購入費補助を実施する考えはないか伺う	市長
		2 いま必要な住宅政策について 人口減少に悩む一部の自治体に移住・定住の目玉として、画期的な戸建て賃貸プロジェクトに取り組み、成果を上げている 「25年住んだら家がもらえる」という住宅政策・移住定住促進事業である (1) 人口減少・少子高齢化が加速する一関市において移住・定住を強力に推進するため、他自治体で成果を上げている「一定期間(25年間)賃貸住宅に居住し続けた場合、その住宅・土地を無償譲渡する」という先進的な定住促進策を一関市としても新たな住宅政策として検討・実施すべきと考えるが、市の見解を伺う (2) 定住促進住宅の新たなスキームとして、戸建て市営住宅の公共工事を市内建築事業者や関連業者に発注し、地域内の仕事の確保や雇用の維持等、地域経済の活性化を図るべきと考えるがいかがか	市長
		3 市民センターの施設整備について 市民センターは、従来の公民館機能(生涯学習や社会教育の拠点)に加え、地域のまちづくりの拠点として、主体的な地域活動を支える役割を持っており、施設の老朽化や体育館がない施設等、施設整備における格差を是正することが求められている (1) 地域要望も踏まえ、各市民センターの状況について調査するとした経緯があるが、現状把握と格差についての市の認識を伺う (2) 公平な施設管理を進めるうえから、老朽化等の問題を抱える施設についての今後の整備計画について伺う	市長

個人質問通告書

令和8年9月

番号	質問議員 (申告時間) 【質問方式】	質問要旨	答弁要求者
18	佐藤真由美 (40分) 【一問一答】	1 中山間地域の活性化について (1) 市営バスとデマンド型乗合タクシーの実態と課題について伺う (2) 田舎暮らしがしたいという移住希望者について伺う (3) 小規模農家の意義と市単独の農業機械購入支援について伺う	市長
		2 小規模修繕登録について (1) 小規模修繕登録者の推移について伺う (2) 小規模修繕登録の趣旨について伺う (3) 小規模修繕に係る予算について伺う	市長
		3 8月1日、2日の大雨被害について (1) 被害の状況について伺う ・ 住家等 ・ 公共土木施設 ・ 農地・農作物 (2) 一閑遊水地に越流した状況について伺う (3) 被害状況への今後の対応について伺う	市長